

緊急注意喚起情報

6月5日～20日は雪若丸等
初期生育量確保強化期間です

米づくり技術情報 No.7

令和6年6月6日

6月に入っても分けつが進んでいない！ 浅水管理・ワキ対策を徹底して分けつ促進！ 茎数確保の遅れは収量・品質低下に直結！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

6枚目の葉が出始めたイネでは、分けつが進みつつありますが、平年に比べると少ない状況です。特に、深水となった圃場では、茎数がほとんど増えていません。

6月5日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈は平年並み、茎数は平年より少なく、葉数はやや少なくなっています。「つや姫」「雪若丸」も同じ傾向です。

平坦部「はえぬき」の生育（6月5日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈 (cm)	24.5	24.5	100	平年並み
茎数(本/㎡)	126	181	69	少ない
葉数 (枚)	5.2	5.5	-0.3	やや少ない

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

分けつが進んで茎数が増加すべき期間に入っています。6月中旬までどのように管理するのかによって、穂数や収量が決まります。

(1) 浅水管理で分けつ促進 ～深水厳禁！水尻の排水板を調整しましょう～

◎浅水管理では、晴れた日には気温以上に水温が高まり、水温の日較差が大きくなって、分けつが促進される条件になる(右図)。

◎茎数確保には、2～3cmの浅水管理の徹底が必須！！

◎降雨後に深水になったままの圃場はNG！速やかに水尻の排水板の高さ等を確認し、浅水になるように調整する。

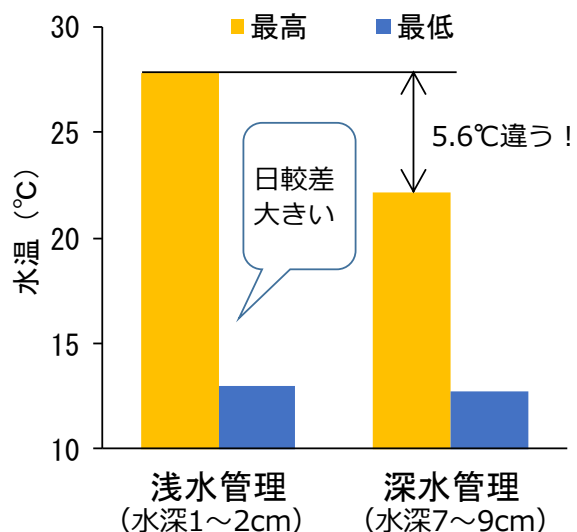


図 水田の水深と水温の関係

注1) 調査日 5月25日、鶴岡市内水田の調査結果

注2) 5月25日の気象データ

日照時間8hr、最高気温16.9℃、最低気温9.4℃

(2) 土壌の異常還元（ワキ）には早めの対応を～今後の気温上昇で多発の恐れ～

- ◎すでに土壌の異常還元(ワキ)が発生している圃場が見られている。
- ◎田んぼに足を踏み入れてガスが発生するか確認！
- ◎**ワキが発生すると根の生育が阻害され、養分が吸収されにくくなるため、葉色が淡くなり、分けつの発生が抑制される。**
- ◎**ガスの発生が多い場合は、土壌の還元状態改善のため、田干しや夜間落水を実施！**
- ◎6月5日発表の2週間予報では、6月8日以降は気温が高く推移する見込みであるため、ワキ多発の恐れ！！

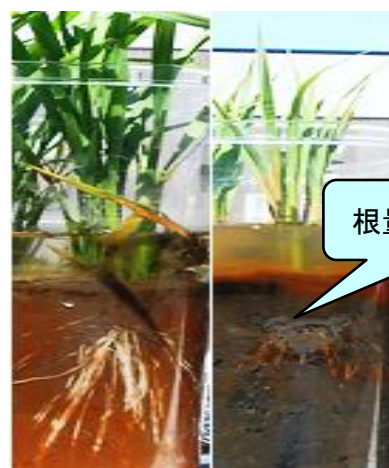
<ワキの状況と対策>

状況	生育への影響	対策	
		分けつ初期・中期	分けつ盛期
足を踏み入れても気泡が発生しない。	なし		
足を踏み込むとわずかに気泡の発生が見られる。	なし		
足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	用水の更新	
足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根の活力低下	用水の更新	
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる。 また、水田を歩くと著しく気泡を発生する	根の伸長阻害、 地上部黄化	夜間落水	間断かんがい 夜間落水



ワキが発生した圃場に
足を踏み入れた時の様子

還元が進んでいない
異常還元



異常還元による根の伸長抑制
(R2年ポット栽培、移植20日後)

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1～6/10)